

開催日時：平成29年7月20日（木）

15：30～17：00

岐阜市役所本庁舎 4-1 会議室

出席：関係機関8か所

相談支援事業所等14か所

（合計22名 別紙名簿参照）

### ○検討テーマ・・・障がい者の孤立化防止について

平成26年度から協議を重ね、アンケート調査を経て、相談希望者へのアウトリーチを実施している。今回はアンケート調査に返信のなかった方や、障害福祉サービスの利用がなく、特に孤立化のリスクが高い方への対応方法について協議。

[これまで孤立化防止に取り組んだ事例を紹介]

#### ①アンケートが未回答であった事例

- ・民生委員より障がい福祉課に連絡があったことをきっかけに、民生委員や生活・就労サポートセンター、生活福祉課と連携し、同行訪問やケース会議等行い対応中。
- ・地域包括支援センターより障がい福祉課に連絡があり、地域包括支援センターや障がい者就業・生活支援センター、委託相談支援事業所、医療機関等と連携し、ケース会議開催等して対応中。

#### ②アンケートの返信をきっかけに、関わり始めた事例

- ・長年引きこもりで保護者が本人を囲いがちであった。委託相談支援事業所の関わりをきっかけに、本人は就労につながったが、保護者より「本人が事業所等に迷惑をかけるからやめる」と発言がある。委託相談支援事業所から特定相談支援事業所に移管し、本人や保護者に寄り添いながら支援をし、就労は継続中。
- ・長年引きこもりであり、本人が人との関わりを拒否していた。毎月訪問し、本人や保護者と信頼関係を構築している。訪問時、本人の調子が良い時は一緒に散歩に行けるようになってきた。保護者と連携し対応中。

[アンケート未回答者へのアプローチ方法についての協議]

- ・アンケートの再送付を行い、本人や保護者に関わっていくきっかけにしたい。本人や保護者が社会とつながりを持てるように支援していけるとよい。
- ・以前送付したアンケートを基に、再送付するアンケート内容について検討するとよい。
- ・アンケートにより関係機関とつながった後のフォローも重要。本人や保護者に寄り添っていけるとよい。

[今後の対応策についての協議]

#### ①再アンケートの内容等について

- ・アンケートを受け取っても理解できない場合もあるので説明する人が必要ではないか。
- ・本人も親も困っていると感じていないのではないか。困っていることの問題に具体例を記載し

てはどうか。

- ・本人、家族の状況が把握できるとよい。
- ・相談できる人はケアマネジャー、相談支援専門員だけでなく、ヘルパーを入れてはどうか。
- ・地域の民生委員や、生活保護受給中であれば生活福祉課と訪問するなど、関係者と同行訪問し、本人や保護者へ直接説明し、聞き取るという支援を検討してはどうか。

[その他意見交換]

- ・生活福祉課や地域包括支援センターの他にも、障がい者就業・生活支援センター、社会福祉協議会、知的障害者相談員等関係機関と同行訪問できると、効果的に取り組めるのではないかと。
- ・障害福祉サービスにつながる場合は、委託相談支援事業所から特定相談支援事業所に協力いただきたい。
- ・障害福祉サービスが切れる際、特定相談支援事業所から委託相談支援事業所につなぐということも必要ではないかと。

[まとめ]

アンケートは以前送付した物を修正し、具体例を示すなど、よりわかりやすく、簡潔にしている。関係機関と同行訪問等行えるよう、関係機関と協議していきたい。委託相談支援事業所が関わり、障害福祉サービスにつながった際には特定相談支援事業所に協力いただきたい。

